

経営体の概要

- ・所在地：長崎県西海市
- ・防除受託組織：
JA長崎せいひドローン防除組合（オペレーター25名）
- ・防除受託面積：水稲等552ha（R5）

導入技術

- ・農薬散布用ドローンによる薬剤散布

導入経緯

- 無人ヘリ防除が実施されてきたが、県外の受託組織であること、中山間地主体であることから適期防除や臨機防除がしにくい場合があり、より効率的、機動的に防除できる体制整備が課題であった。
- そこで、H29年9月、当該地域に防除組織2組織が組織されドローンが1台ずつ導入された。
- その後、防除組織が合併し、ドローンを6台所有し防除を実施している。

取組の特徴・効果

- 無人ヘリ防除との連携により地域として防除作業が効率的に実施できるようになってきた。
- 当該地域の無人航空機防除面積（水稲延べ面積）

	H29	H30	R5
ドローン	13ha	115ha	552ha
- 単位面積当たりの防除作業時間は、無人ヘリが短いですが、ドローンは小型軽量で取り回しがよく中山間地など不正形・狭小圃場の多い地域ではドローンの優位性が高い。
- ドローンは水稲のみならず、ばれいしょの防除にも活用。



ドローンによる薬液散布作業